



議会だより

No.143

2023.10.17 発行

い
は
ら
の
え

表紙 実りの秋

- 補正予算ピックアップ…………… P2
- 議案リスト …………… P3
- 各常任委員会審査報告 …………… P4
- 第3回臨時会 …………… P5
- 決算審査特別委員会審査報告 …………… P6 ~ P7
- 特集記事 …………… P8 ~ P11
- 一般質問 (7名)…………… P12 ~ P18
- 傍聴者の声・アンケート …………… P19

裏表紙 バトンをつなぐ (南山田)

編集後記

9月
定例会

一般会計・ 特別会計補正予算

原案
可決

令和5年第3回定例会9月議会が開催され、補正予算6件のほか、報告3件、議案8件、決算認定6件を審議し、すべて原案のとおり可決しました。

令和5年度一般会計補正予算（第5号）

補正前予算額	93億4,812万4千円
補正額	△219万8千円
補正後予算額	93億4,592万6千円

追加議案 令和5年度一般会計補正予算（第6号）

補正前予算額	93億4,592万6千円
補正額	2,889万7千円
補正後予算額	93億7,482万3千円

◎補正予算●主な内容

歳入

- 基金繰入金 …………… △3億4,743万2千円
- 繰越金 …………… 3億4,322万2千円

◎補正予算●主な内容

歳入

- 総務費国庫補助金 …………… 2,889万7千円
- ・特定防衛施設周辺整備調整交付金
- ・再編関連訓練移転等交付金

歳出

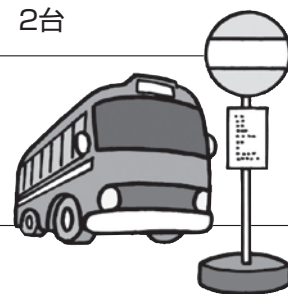
- 介護保険特別会計繰出金 …… △236万5千円
- 野上小学校耐力度調査委託 …… 923万1千円

歳出

- 備品購入費 …………… 2,300万円
- ・コミュニティバス更新 2台

◎特別会計補正予算

- 国民健康保険特別会計
…繰越金等の確定により8,800万円を追加し、総額15億8,848万1千円としました
- 水道特別会計
…繰越金の確定により1,206万円を追加し、総額2億5,261万8千円としました
- 飯田高原診療所特別会計
…繰越金の確定により124万4千円を追加し、総額7,064万1千円としました
- 介護保険特別会計
…繰越金等の確定により8,889万3千円を追加し、総額15億3,100万5千円としました



第3回 九重町議会定例会 「令和5年9月4日～28日」

議案番号	件 名	付 託	結 果
報告第5号	地方公共団体の財政の健全化に関する法律に基づく健全化判断比率の算定について		
報告第6号	地方公共団体の財政の健全化に関する法律に基づく資金不足比率の算定について		
報告第7号	令和4年ここのえまち総合サービス株式会社決算の報告について		
議案第44号	財産取得について		可 決
議案第45号	財産取得について		可 決
議案第46号	工事請負変更契約の締結について		可 決
議案第47号	町長、副町長及び教育長の給与に関する条例の一部改正について		可 決
議案第48号	ここのえ子ども・子育て支援会議設置条例の一部改正について	教育民生観光常任委員会	可 決
議案第49号	九重町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正について	教育民生観光常任委員会	可 決
議案第50号	令和5年度九重町一般会計補正予算（第5号）		可 決
議案第51号	令和5年度国民健康保険特別会計補正予算（第1号）		可 決
議案第52号	令和5年度水道特別会計補正予算（第2号）		可 決
議案第53号	令和5年度飯田高原診療所特別会計補正予算（第1号）		可 決
議案第54号	令和5年度介護保険特別会計補正予算（第1号）		可 決
議案第55号	令和4年度九重町一般会計歳入歳出決算認定について	決算審査特別委員会	認 定
議案第56号	令和4年度国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について	決算審査特別委員会	認 定
議案第57号	令和4年度水道特別会計歳入歳出決算認定について	決算審査特別委員会	認 定
議案第58号	令和4年度飯田高原診療所特別会計歳入歳出決算認定について	決算審査特別委員会	認 定
議案第59号	令和4年度介護保険特別会計歳入歳出決算認定について	決算審査特別委員会	認 定
議案第60号	令和4年度後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	決算審査特別委員会	認 定
陳情第4号	「町道認定を求める陳情書」国道210号線と奥野地区との接合部分	総務建設産業常任委員会	採 択
追加議案			
議案第61号	工事請負変更契約の締結について		可 決
議案第62号	工事請負契約の締結について		可 決
議案第63号	令和5年度九重町一般会計補正予算（第6号）		可 決

議案第47号 採決結果

※議長は採決には加わりません。

増田	河野	佐々木	矢野	岐部	野上	岩尾	大津留	土井	佐藤	菅原
賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	反対	賛成	賛成	賛成	賛成

なお、契約に係る議決の内容は以下のとおりです。

- 議案第44号 財産取得について
学習用タブレット端末80台 854万7千円
- 議案第45号 財産取得について
スクールバス（小型バス）1台 1,028万5千円
- 議案第46号 工事請負変更契約の締結について
令和4年度 九重文化センター空調設備改修工事 1億4,916万6千600円
- 議案第61号 工事請負変更契約の締結について
令和5年度（4年災）災国町村第293号外2件 町田小園線道路災害復旧工事 1億5,567万6千400円
- 議案第62号 工事請負契約の締結について
令和5年度 重原配水池築造工事 6,072万円



陳情受付番号第4号

9月4日開会した第3回定例会において総務建設産業常任委員会に付託された案件は、陳情1件でありました。9月15日に総務建設産業常任委員会を開催し、審査をいたしました。

① 陳情受付番号4「町道認定を求める陳情書」については、審議・審査の上、下記の3点をもって採択と決定しました

- ア 奥野区長永楽勇一氏と地権者である永楽三千則氏の連名で提出されていること
- イ 国道210号と奥野地区町道の接合部分であり、住民の利便性の向上に寄与できること
- ウ 奥野地区住民にとって国道への接合箇所が増えることで、災害時や救急搬送時等において新たに代替経路も準備することができ住民福祉にも大きく貢献できること

その他に各課から報告を受け、協議した事項

総務課	・町内で分収造林を行っていた部分林組合より高齢化と組合員減少を理由に契約解除を希望する旨の連絡を受けた。それに伴い今後は町も契約について協議を行い対応を検討する。
まちづくり推進課	・温泉館については、条例を廃止し、今後有効活用を図る。 ・秋の観光シーズンに運行するシャトルバスは、乗客全員有料とする。
人権尊重・部落差別解消推進課	・書曲3の山林伐採について「歴史的史実について理解し、解放同盟との連携を密にして事業を遂行してほしい」と要望した。
危機管理・防災安全課	・工事請負契約について、補正予算計上のプロセスを確認の上、当初予算計上時の積算根拠の正確な把握と予算計上を求めた。

ここのえ子ども・子育て支援会議設置条例の一部改正

「こども家庭庁設置法の施行に伴う関係法令の整備に関する法律」の施行による「子ども・子育て支援法」の一部改正に伴うものであり、適当であるとの結論に達しました。



九重町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正

「地域の自主性及び自立性を高めるための改革の推進を図るための関係法律の整備に関する法律」第3条「就学前の子どもに関する教育、保育等の総合的な提供の推進に関する法律」の改正に伴うものであり、適当であるとの結論に達しました。

第3回 臨時会(R5.7.27)

議案一覧

議案番号	件 名	結 果
報告第4号	専決処分の報告同承認を求めることについて	承 認
議案第40号	財産取得について	可 決
議案第41号	工事請負契約の締結について	可 決
議案第42号	令和5年度九重町一般会計補正予算（第4号）	可 決
議案第43号	令和5年度水道特別会計補正予算（第1号）	可 決

専決処分とは

本来は議会が議決すべき事柄を、時間的に議会の招集を待てない緊急な場合などに、行政運営の遅れや滞りを防ぐため、例外的に首長が議会の議決に代わり意思決定することです。専決処分をした場合、首長は次の議会で報告し、その承認を求めなければなりません。

今回は、令和5年6月30日からの梅雨前線豪雨災害対応に伴う災害土砂除去2,000万円と野矢小学校災害復旧費600万円の計2,600万円の追加補正予算。

議案第40号 消防ポンプ自動車（CD-1型）取得 価格2,841万3千円

議案第41号 令和5年度（2年災）災国町村第1177号 野稻川河川災害復旧工事

契約金額 7,755万円 契約方法 指名競争入札 契約相手方 有限会社 泉水緑化産業

令和5年度一般会計補正予算（第4号）

補正前予算額 86億5,007万9千円

補正額 6億9,804万5千円

補正後予算額 93億4,812万4千円

◎補正予算●主要内容

専決処分

○災害復旧費 …………… 2,616万1千円の補正

◎特別会計補正予算

●水道特別会計
…………… 財源組み換えのため総額に増減なし

歳入

- 公共土木施設災害復旧費補助金(国庫支出金) …………… 5,917万7千円
- 新型コロナウイルス感染症対応地元創生臨時交付金(国庫支出金) …………… 4,156万円
- 地域消費喚起プレミアム商品券支援事業補助金(県支出金) …………… 2,676万円
- 耕地災害復旧事業補助金(県支出金) …………… 4億1,963万5千円
- 財政調整基金繰入金 …………… 1億2,500万円

歳出

- 地域消費喚起プレミアム商品券発行事業補助金 …………… 4,152万円
- 九重町生活応援商品券配布事業負担金 …………… 4,305万円
- 農地災害復旧費 …………… 4億3,800万円
- 道路橋りょう災害復旧費 …………… 1億3,200万円
- 文教施設災害復旧費 …………… 3,314万6千円



家計簿をチェック

審査特別委員会報告



特別委員会設置

令和5年第3回九重町議会定例会において、議員6名により決算審査特別委員会を設置し、一般会計及び特別会計の令和4年度決算分について、9月5日、20日、22日の3日間にわたり審査を行いました。

今回の決算審査を実施するにあたり、当該予算が議決された際の趣旨と目的に従ってその執行が適正にそして効率的に行われているか、また今後の行財政運営においていかに改善工夫がされるべきか、コロナ禍、物価高騰等、予算執行にどのような影響があるのかといったことに力点を置き書類審査を行い、担当課に対する事情聴取及び現地調査を実施し、慎重に内容の審査を行いました。

委員長が委員会での審査結果を本会議で報告し、報告とおり各種会計決算を認定しました。



飯田小学校グラウンド



長者原オートキャンプ場



泉水キャンプ村

現地調査にて

現地には、飯田小学校（飯田小学校屋外運動場改修工事、飯田小学校グラウンドフェンス設置工事）、長者原オートキャンプ場（長者原オートキャンプ場FF式ガスファンヒーター取替工事）、泉水キャンプ村の状況等を確認しました。

令和4年度 町の

決算認定における決算



不透明な情勢も考慮し、
適正な予算編成、予算執行を。
業務上のリスクを
洗い出し防止する対策を。



決算認定にあたっての付帯意見の概要

●収入未済・不納欠損について

令和3年度分と比較して減少の傾向にあるが、滞納整理については引き続き努力を。

●負担金、補助金、役務費、委託料、備品購入費、扶助費、賃借料について

事業内容において適正な予算執行がされており今後においても事業の精査を行い適正執行に努めること。

●総合意見

- ◎社会情勢を鑑み、適正な数値を把握するとともに、自主財源の確保を。
- ◎住民ニーズを正しく把握し、財源の重点的、効率的な配分を。
- ◎物価上昇等の厳しい経済状況を踏まえ、事業者の支援、担い手育成を。
- ◎予算編成には、不用額について十分精査のもと一層の適正管理を。
- ◎監査委員の審査意見、決算審査特別委員より意見のあった事項について、工夫・改善を。
- ◎補助金手続きにおいて歳入欠陥が生じている。業務遂行上のリスクを洗い出し防止する対策を。

九重町・モンゴル表敬訪問団 議会報告

参加議員：増田 裕子・菅原 美好・野上 香代子・佐々木 信介・矢野 春美

日程 令和5年9月6日～11日までの6日間
場所 モンゴル国アルハンガイ県ツェンヘル・ソム
目的 モンゴル国の温泉地ツェンヘル・ソムを訪ね
 国際交流・観光推進・教育支援・ものづくりと農業協力の覚書の締結を行う事



大草原の遊牧民(親子で馬とバイクに乗り家畜の移動)



ツェンヘル・ソム長と
九重町長との覚書の締結



ツェンヘル・ソム庁舎



アルハンガイ県庁舎



アルハンガイ県知事に
大分県知事の親書を渡す



日野町長を団長として議員5名が訪問団に参加。

首都ウランバートルから約500kmの道のり(けっこうな悪路)を交流の覚書締結の為ツェンヘル・ソムを訪れました。首都ウランバートルは開発が進み都市化されていますが、郊外は大自然あふれる大草原がどこまでも続いています。遊牧民族の住居ゲルが点在し、ヤギ、羊、牛、馬、ラクダなどの家畜がいたる所で見受けられスケールの壮大さに驚かされました。

覚書締結後、学校(12年制)の視察。生徒数が多く二部制で授業を行っているとの事、小2のクラスの隣が高2だった事も驚きでした。遊牧民が多く、寄宿舎に入っている子どもも多いと聞きました。環境がどうであれ学ぶ子ども達の瞳は輝いていました。

首都ウランバートルでは若者の姿が多く、発展の可能性があふれているように見受けられました。今回の訪問でツェンヘル・ソム長・アルハンガイ県知事・前モンゴル首相・現駐日モンゴル大使等今回の訪問でなければお会いする事が出来ない方々と交流が持て、有意義な訪問となりました。今回の表敬訪問に本町ご出身の前駐日モンゴル大使、清水武則氏に多大のご尽力をいただきました。人の繋がりが全ての繋がりを作るという事を実感した訪問でした。これを機としてSNS等を活用しながら互いの交流を深め町の発展に繋がるように頑張っていきたいと思ひます。



7/18

西部振興局懇談会

日時：令和5年7月18日(火) 10:00～12:00 場所：大分県日田総合庁舎 3F 会議室

目的：主に農業・観光振興策の現状と新たな取り組みについて説明を受け質疑を行う

参加：九重町議員 有吉富生議長以下10名 振興局 石井聖治局長以下8名（保健所2名）

各部局より下記の説明がありました。

① 地域創生部事業

- ・地域活性化の推進（地域活力づくり総合補助金、移住定住促進）
- ・小規模集落対策の推進
- ・観光・商工業の振興

② 農林基盤部・農山村振興部

- ・企業参入

令和3年 株式会社エーワン（キャベツ） 現在16.5ha 今後40haまで拡大

令和5年 アイ・エス・フーズ徳島株式会社（青ネギ） 200aで令和7年営農開始

- ・農業農村整備事業

中山間地域総合整備事業…“ゆめ”タウンここのえ2期 予算 1億2,582万円

中山間地域において、ほ場整備・暗渠排水・用排水路整備などの農業生産基盤と
農業生活環境基盤の整備を総合的に実施



※地域創生部に地域活力づくり総合補助金のチャレンジ枠・地域創生枠・空き家枠について内容確認

8/25

玖珠土木事務所懇談会

日時：令和5年8月25日(金) 10:00～11:30 場所：玖珠土木事務所 3F 会議室

目的：県管理の河川・道路の災害復旧の現状と計画について説明を受け、進捗状況を確認する

参加：九重町議員 有吉富生議長以下11名 土木事務所 四嶋信一所長以下6名

四嶋信一所長より令和5年度の事業概要の中で九重町に関連する事業について詳細な説明を受けました。

特に長期にわたるインフラの整備について、下記の3点の説明がありました。

① 一級河川野上川改良復旧について

令和17年の工事完了を目途に、計画延長2.4kmの河川改修を行う。工区にJRの高架や橋梁また堰が存在しているため、各々管理する主体との調整をしながら、想定外の豪雨にも対応可能な川幅や深さを算定した上で改良復旧を行っていく。令和5年度はJR高架（第一野上川橋梁）の架け替え工事に着手する。

② 国道387号川底地区「淮園ほたるトンネル」については、今年度の供用開始を目指す

③ 国道387号のルート変更に伴う引治工区の住民説明会を8月より実施する

現行の川道団地から栗野交差点までの約600mの間の幅員を広げることが困難なため、富迫下から国道210号に向けて橋梁を渡すための調査設計の予算が4,000万円に決定した。この件について住民説明会を順次開催する。

その他の事業については下記URLもしくはQRコードにて事業概要をご覧ください。

https://www.pref.oita.jp/uploaded/life/2234343_4067981_misc.pdf


7/26

白熱! おでかけ議会 教育民生観光常任委員会

九重・飯田高原観光協会との意見交換(飯田公民館に於いて)

観光協会からの意見

- ・「観光と農業」と打ち出しているが進んでいるか。
- ・観光協会は何をしたらいいのか。
- ・行政は何をするのか。
- ・議員は何をしているのか。



委員会として

- ・九重町の優れた観光地の価値が発揮されていない現状がある。観光協会の具体的な行動と議員の応援も併せることで行政も力になってくれる。
- ・行政も千町無田マラソンコースについては、看板の設置、仮設トイレ、更衣室など設置し支援してきた。
- ・観光協会全体としてもおもてなしのスキルアップが望まれる。

など現状と今後に向けて何をどうしていけばよいのか、真剣な意見が飛び交いました。

今後も意識の共有を図るよう、各団体との意見交換の場を設けていき、随時皆さまに報告をいたします。

8/3

第一回町村議会議員研修会

日出町中央公民館 ホール

例年、県内の全町村を対象に開催される研修会に議員全員で参加をしました。

これからの自治体において求められる考え方について学習を深めました。



- ・自治体は現在および将来において、地域住民に対して適切な行政サービスを提供していかなければならない。
- ・健全な財政=将来の世代の能力を超える負担を残さない。
- ・決算数値から次は何をすべきか、何がやめられ、やめられないかの対策を講じる必要性。
- ・少子高齢化・人口減少という長期的な変化へ対応するための将来計画は、毎年、最新の決算書類に基づいて改訂すべき。
- ・財政書類の内容を将来計画に反映させ、それに基づいて各年度の予算案が編成されるプロセスが確立されるべき。

8/3

京都府 亀岡市議会議員 行政視察受け入れ

令和5年8月3日(木) 10:00

来 町 者：亀岡市議会議員 菱田光紀氏・新清流会会長 西口純生氏・監査委員 小川克己氏 他3名
議会对応：有吉富生議長・岐部俊哉総建産常任委員長・まちづくり推進課

亀岡市とはどんなまち？

京都市の西隣に位置し、人口85,000人。京阪神都市圏とのすぐれたアクセスと、豊かな緑に囲まれ快適な生活空間を有する亀岡市は、令和2（2020）年には「亀岡市ポイ捨て禁止条例」や全国初の「亀岡市プラスチック製レジ袋の提供禁止に関する条例」を制定するなど、全国に先駆けた取組を推進し、**世界に誇れる環境先進都市**を目指している。

行政視察の主なQ&A

Q 町が100%出資した九重町総合サービス株式会社の設立経緯と運営・経営について

A 行政の業務には①町が直営で行う事業②一部を委託する事業③指定管理とする事業④民営化する事業に分類される。本町にはアウトソーシングできる会社やNPO法人等が少ないため、2017年10月に資本金2,000万円で行政株主の会社を設立した。令和3年度に社長を民間より登用し、本年8月には町有施設の指定管理を受けてパンの製造販売を始めたところである。今のところの経営状況は、町の公共施設委託管理業務の受託が収益の大半を占めている。

Q 民間の活力を生かすことを行政株主が持つ株式会社がどのように具現化しているのか（山恋フェスや九重“夢”大吊橋感謝祭等のイベント開催について）

A イベント開催は、町からの委託や実行委員会方式等工夫して行っている中、委員会に参画しているイベントもある。これまでの行政のスリム化を主目的とした運営を継続しながら、民間で培ってきた経営ノウハウを最大限活用してもらい、新たなビジネスの立ち上げや雇用の創出に向けてマネジメント能力を発揮している。

9/2

第76回大分県民スポーツ大会 議員ソフトボール

日時：令和5年9月2日(土) 10:30～

場所：別府市野口原ソフトボール場A

結果：1回戦 対戦相手 日田市議会

スコア 11対11（60分時間制、くじにより敗退）

コロナ禍、悪天候により中止となっていた県民スポーツ大会（公開競技）が郡市16チームにより4年ぶりに開催されました。（玖珠郡チームは、玖珠町議会と九重町議会の合同チームにて参加）

曇り空ながら汗ばむ会場では、試合も白熱し、打撃戦の末、同点、くじ引きにより惜しくも敗退しました。



A	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
玖珠郡	3	1	4	3							
日田市	0	9	0	2							

町政を質す 一般質問

7名の議員が質問

命を守る避難行動 高齢者・弱者にやさしい避難所にすべき

…………… 現場に寄り添った対応が大原則



佐藤 明郎

佐藤 決して多くの方が利用している状況にはないようだが、避難者の状況をどう把握しているか。

梅木危機管理・防災安全課長 かなり高齢の方が多い状況にある。

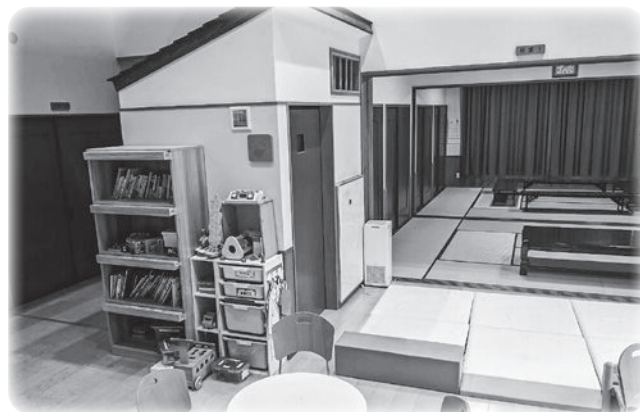
佐藤 先程の答弁で、「要配慮者には、交流センターを利用して、精神的、身体的負担に配慮する」とあったが、現場では高齢者もすべて体育館の床で夜を明かし、購入したはずの段ボールベッドさえ配置されていない。避難者には辛すぎる。

梅木危機管理・防災安全課長 文化センターに配置し、各地区避難所への配置ができていない。今後配置する。

佐藤 そもそも高齢者等を体育館で受け入れること自体酷すぎる。畳の部屋など環境の整備された交流センターを利用してもらいながら現場はこの現実。

要配慮者には交流センターを先に開放することを約束すべき。

日野町長 指摘のように現場での避難者に寄り添った対応が必要。特に高齢者の体調面なども理解しているので対応する。



畳間・授乳室・ロビー快適な交流センター

佐藤 近年全国的に、災害時に支援をする側の人が活動中に命を落とす悲報が多い。わが町の避難所の対応に当たる職員にも頭が下がる。しかし、避難所に向かう道中など考えると危険を感じる。職員にも大切な家族がある。どの職員をどの避難所に向かわせるのかマニュアルではどうなっているか。

熊谷総務課長 職員の状況は担当課長が一番把握している。その上で指揮命令系統の重要性、職員の行動把握の観点から、地区別よりも、現在の課ごとの配置としている。

佐藤 机上の理由にしか取れない。指定避難所を一番熟知した職員を他の避難所に行かせたり、危険個所を通り遠方に行かせたり、命を守るため改善すべきではないか。

梅木危機管理・防災安全課長 総務課長から答弁の通りであり、職員の配置については、指摘の部分も配慮している。



現状避難者を受け入れている体育館

増田
裕子



町民の安心・安全を確保するため、 消費生活相談員の早期配置を!

..... できる限り早く行いたい

増田 全国的に詐欺や消費生活トラブル等の事件が多く発生している。定期購入や通販、SNS関係の相談は過去最多で、被害者も高齢化している。

町内での相談状況と内容は。

吉光商工観光・自然環境課長 過去3年間の相談件数について、R2年度-138件、R3年度-134件、R4年度-58件、R5年度は4件である。内容としては、相談や情報提供が多く、トラブルに関しては全て解決済みである。

増田 今年の2月から相談員が不在となっている。

これまで、資格を有した消費生活相談員が常駐し、相談への対応や啓発を幅広くおこなってきたが、現在はどうしているか。

吉光商工観光・自然環境課長 担当職員が相談内容の聞き取りをおこなった後、県の消費生活センターのアイネス等に連絡をとって指導・助言を受けた後に処理をおこなっている。相談者にとって今できる最善策を講じている状況である。

重要! 相談体制の充実でトラブルを未然に防ぐ

**消費生活で困った事
一人で悩まず
相談してみませんか?**



◎九重町消費生活相談窓口
商工観光課内

☎ 0973-76-3150

増田 消費生活相談は、事件解決はもちろん、まず相談を受ける、町民に安心を与え、安全を守るために必要と考えるが、町の考え方はどうか。

吉光商工観光・自然環境課長 九重町としては、やはり相談員が常駐した中でトラブルへの対応や町民への啓発活動を行うことが最善と考えている。

ハローワークでの募集や、県の消費生活相談員、人材バンク登録情報等から登録者にコンタクト等をおこなってきたが、まだ確保できていない。これまでは資格を有する方を探してきたが、8月からは一般事務職として募集を開始している。

増田 県内の特殊詐欺被害額は今年すでに2億2,372万円で、すでに前年総額を超えている。また成人年齢の引き下げから18歳未満への教育や啓発が不可欠である。相談員の雇用を考える場合に、そこまで計画的に視野に入れ対応できるか。

吉光商工観光・自然環境課長 悪質商法や特殊詐欺事件等が大きく取り上げられる中で、九重町は、全国的・県内的に見れば、低い件数で消費生活トラブルが推移できている。これまでの啓発等の取り組みが非常に効果的であったと捉えている。しっかり人材を確保して、啓発や相談等に対応していきたい。

消費生活研究会

消費生活に関する知識を学んだり、他の町民の方へ啓発を行ったりします。(年会費千円)

どなたでも参加できます!

年3~4回、学習会や研修を行います。

現在、会員募集中!

連絡は、76-3150まで

(役場 商工観光・自然環境課)

事故がおきないように 町道管理はできているか

…………… 移動時、極力町道を通して確認を行っている。
通行途中、石や木が落ちていれば車を止めて排除している



野上
香代子

町道管理

野上 町道の草刈りの現状は。

武石建設課長 町道は年1回。四季彩ロードだけは年2回行っている。

野上 草刈り以外の管理状況は。

武石建設課長 パトロールや住民からの通報等によって対応している。

野上 情報提供の住民周知は。

武石建設課長 町報等を活用し行っていきたい。

熱中症対策

野上 教育現場の熱中症対策は。

友松教育振興課長 黒球式熱中症指数計を活用し学校の危機管理マニュアルに基づき対策を講じている。

野上 熱中症対策で日課表の変更はあるか。

友松教育振興課長 日課表の切り替え等はない。体育を含め全ての授業において安心、安全を確保し学校生活を送れるように努力している。

野上 高齢者の熱中症対策は。

竹尾健康福祉課長 予防のための啓発が主な取り組みとなっている。高齢者は、暑さや、のどの渇きを感じにくいので、周囲の人の支え合いの中で声をかけあっていくことも重要と考えている。



スポーツツーリズム

野上 スポーツ合宿の現状は。

吉光商工観光・自然環境課長 陸上で延べ1,335人、ラグビーで386人の合計1,721人が訪れている。

野上 合宿誘致の方策は。

小田まちづくり推進課長 スポーツ合宿ガイドブックを作成し九州内の実業団や大学、高校等へ配布をするなどして誘致活動も行っている。

野上 九重グリーンパークグラウンドの利用状況は。

吉光商工観光・自然環境課長

令和5年度はラグビー、サッカー、陸上で、1,537人の利用があった。



九重グリーンパークグラウンド

台湾との交流

野上 台湾から訪れた中学生の数は。

友松教育振興課長 姉妹校提携の大灣國民中学の生徒が16名、鳳山國民中学の生徒が8名、合計24名である。

野上 九重町から訪問する人数を増やす考えは。

日野町長 現在は無いが、長い交流が今後もでき海外の人に会うことによって自分を高めていけるような人材を育成できればと考えている。

防災訓練

野上 防災訓練の予定は。

梅木危機管理・防災安全課長 避難訓練・防災訓練の実施については、今年度調整中である。町主導の部分は次年度以降で、実施に向け調整していく。

佐々木
信介



生産資材は高騰し農業を取り巻く環境はますます
厳しいものが有るが、町の財政での支援策は

…………… 一律支援はないが、産業や品目ごとの
支援は行っている

農林業の持続的发展について

佐々木 九重町の農林業については、高齢化、担い手不足や生産資材の高騰により一次産業については、生産物に単価設定することができず、農業の取り巻く環境は非常に厳しい状況にある。町の財政の中で支援策はあるのか。

藤野農林課長 農林業全般に対する一律の支援というものはないが、産業や品目ごとの支援は行っている。令和4年度には畜産農家への飼料購入一部助成、またシイタケ生産者に対する燃料費の一部助成、施設園芸農場者に対する燃料費の一部助成などを緊急対策として実施した。

松木川水系の水の濁りについて



松木ダム付近の水の状況

佐々木 昭和51年に防衛農業用貯水ダムが完成し、下流に13本水路が引かれ、水田には水が行き届き水不足が解消した。その後、年々ダムの水が濁ってきている対策として平成11年にバイパスを建設したが濁りについては解決されていない。また、ダムには3つの排水口があり、汚れに沿ってそれぞれの排水をしているが、一番底にあるほぼ50年経つ排水口は開けたことがない。試験的にも開けるなどして、水がきれいになったというような状況がつかれないか。

武石建設課長 バイパスについては、濁った水が直接ダムに入り込まない対策として建設されたもの。ダムに入る前に下流側に放流するために建設された。

気象状況等を予測してダムのバイパスの弁を開閉することで、きれいな水を下に流していく対策が取られてきたが、度重なる豪雨によって、ゲートに土砂が堆積、バイパスに土砂が入ってきたような状況も見受けられる。今年県が予算化し調査と土砂の除去をする方向で、現在防衛省のほうに申請している状況。また通常どおりのゲートの操作を行っていきたいと考えている。

観光資源について

佐々木 溶岩台地が削られてでき、落差26m、幅40mの二段落としの竜門の滝というものがある。その北側の崖から落石があり、滝滑り禁止、立ち入り禁止となっている。落石防止策はあるか。

滝滑りが観光資源になるのではないかと。竜門の滝は、耶馬溪日田英彦山国定公園内に位置しており、九重町の全体のものと考え、滝周辺の活性化については関係団体の皆さんと一緒に知恵を出しては。



竜門の滝落石箇所

吉光商工観光・自然環境課長 現状としては、景勝地としての竜門の滝の保全に努めて、滝滑りの方は禁止せざるを得ないという考え方で確認している。

防災避難について (野上、野矢各小学校区内に避難所を設置できないか)

…………… 水害や土砂災害等の問題があり、設置が難しい



岩尾
茂樹

防災避難について

「高齢者」「障がい者」等の要支援者の避難方法は

岩尾 自分自身では避難ができない方に対してどのような対応をしているか。

梅木危機管理・防災安全課長 個別に連絡はしておらず、通常の周知方法のみである。

岩尾 今後に向けて何か手助けを検討できないか。

竹尾健康福祉課長 個別避難計画策定の取組みを始めている。

また、グループを組んで声を掛け合いながら避難するマップ作りを各地域で取り組んでいる。

梅木危機管理・防災安全課長 避難に際しては、消防団、防災士の協力や連携が必要と考えている。

岩尾 個別避難計画は、いつごろまでに完成させる予定か。

竹尾健康福祉課長 令和8年までにはと考えている。

岩尾 避難したい人をバスで回収する方法は考えられないか。

梅木危機管理・防災安全課長 現在は検討していない。

避難所の設置は

岩尾 野上、野矢各小学校区内に避難所を設置できないか。

梅木危機管理・防災安全課長 水害や土砂災害等の問題があり、野上小学校や野矢小学校を避難所として指定することは難しい。

岩尾 プレハブ等の建設による避難所の設置は考えられないか。

梅木危機管理・防災安全課長 町が指定する避難所の設置は、職員の人的配置の問題もあり難しい。

時松副町長 避難所運営の在り方はどうあるべきか、今後関係団体と協議して方向性を出していきたい。

旧野上中学校跡地について

利活用は

岩尾 校舎、体育館を含め跡地等の利活用はどのように考えているか。

小田まちづくり推進課長 具体的な活用案がまだできていないので、早急に協議を進め方針を決定したい。



跡地利用が未定の旧野上中学校

介護政策について

入所状況等は

岩尾 介護施設への入所状況等を把握しているか。
(待機状況、町外の施設への入所状況等)

竹尾健康福祉課長 町内6施設に161人が入所中。待機者は40人弱。これとは別に町外の施設に入所されている方が70人程度いると推定される。

岩尾 今後の町内における施設や介護職員の確保について、どのように考えているか。

竹尾健康福祉課長 施設に限られる中、「地域包括ケアシステム」の構築を目指している。「地域包括ケアシステム」とは、住み慣れた地域の中で、最後まで生活ができるように、医療・介護・予防・住まい・生活支援が一体的に提供される体制のことである。

介護人材確保については、次期介護保険事業計画を策定中で、各事業所から聞き取りを行っており、状況等を把握していきたい。

矢野
春美



人口減少! 労働力減少! 税収減少! 将来の町民サービスは大丈夫?

…………… 歳入確保と事業の優先順位や
デジタル技術活用で効率的に

矢野 労働人口減少の中、形となった新しい事業は。

藤野農林課長 本年6月16日アイ・エス・フーズ徳島株式会社と締結（青ネギ生産、加工）。

矢野 昨年度は参入企業がなかったので、粘り強い努力の結果が実り、良かった。現在取り組まれている事業は。

日野町長 まだ正式ではないがすっぽんの養殖、キャベツの生産、水素関連などの話も来ている。厳しい時代の中しっかり企業参入いただき活性化を図りたい。

矢野 企業誘致で雇用も増えるが、労働力減少の中どのようにオファーしているか。

吉光商工観光・自然環境課長 工業に限らず、九重町の気候や地形、標高など特性を生かした農業分野でも大分県や関係団体とも連携して取り組む。

人口減少に伴う町民サービス低下の懸念

矢野 自助・公助と云われるが現在の地域社会が高齢化し繋がりも希薄。2025年問題もあり目前に危機がある。九重町には森林、温泉、地熱、観光名所など豊かな資源があるが、将来の町民サービス、若い人が活躍できる町づくりの財源となるような投資をしてほしい。

今後も人口減少はとどまらない状況で、税収も減る。将来も今と同じサービスが提供できるのか。

小田まちづくり推進課長 人口減の深刻な影響の可能性は認識。自助・公助のもと、まち・ひと・しごと創生総合戦略に取り組んでいる。将来への対策は、収入、歳入の確保。事業の適切な優先順位。デジタ

ル技術の活用。地域コミュニティ、ボランティアグループなどの活用で住民の支え合いの取り組みも重要。

観光産業について

矢野 コロナが5類に引き下げられ観光客の回復は。

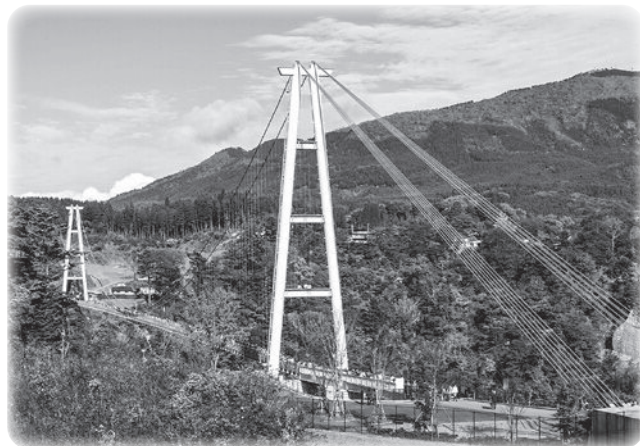
吉光商工観光・自然環境課長 九重“夢”大吊橋の来場者数では5月から8月末まで12万8,000人。昨年度同時期より25%増。平成30年度よりは3割ほど落ち込んだ状態。

矢野 2026年に20周年を迎えるがリニューアルや記念イベントなどの計画は。

教育民生観光常任委員会で三島市の大吊橋を訪れた。民間経営なので滞在時間が長くなるような体験ゾーンが充実している。

20周年を期に“夢”大吊橋も付加価値をつけることで滞在型の集客を増やすことができると考える。

吉光商工観光・自然環境課長 まずは経年劣化した屋根、看板などのリニューアルを今年度中に。記念イベントについては今後関係団体とも協議。



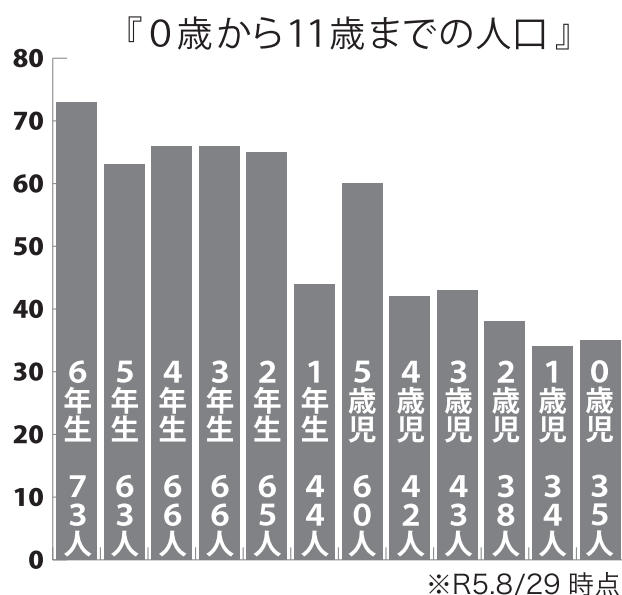
2026年に20周年を迎える大吊橋

学校再編！ 今は協議を始めるタイミングか

..... 小学校の在り方についての検討を始めていきたい



河野
克輝



河野 「小学校は6校を維持する。ただし、全校生徒が急激に減少したり、教育活動に支障をきたしたりすることが心配されるとき、校区住民や保護者が協議し統合を望む場合には速やかに統合について協議を始める。」今は協議を始めるタイミングか。

時松教育長 保護者や校区住民の方から声が上がってくれば、小学校の在り方について町民全体で議論をしていくことは非常に大事なことで捉えている。

教育委員会の中で第二次学校再編計画に係る小学校統合計画の見直しが必要かどうか、また今後の小学校の在り方についての検討を始めていきたいと思っている。



河野 今年の野矢小学校の1年生が0人。2年後の小学1年生が1人の可能性が出てきているが、今が支障をきたしたりすることが心配される時では。

友松教育振興課長 今の段階で1人だから必ず支障があるということも言えないし、1人だからできる部分、あるいは子どもさんの状態や家庭の状況も踏まえると必ず1人が悪いというようなことを断言できない。全体的な視野の中で、今後1人学級がどうなのかということは検証していかなければならないと思っている。

河野 分かっている情報を提供し、区長会、まちづくり協議会で「子供たちのために必要なこと」の議論を促すことは可能か。

友松教育振興課長 情報については必要に応じ、提供をしていきたいと思っているし、それぞれの組織団体あるいは委員会会議等でそういった議論をされるというのは行政主体ではなくてもできることだと思うので、自主的にそういうテーマを設けていただいて議論をしてもらいたい。教育委員会としては資料の提供であるとか必要なものがあれば、そのときはしっかりお受けして対応していきたい。

校区別の子どもの人数

校区別 人数	5歳(H29) 60人	4歳(H30) 42人	3歳(H31) 43人	2歳(R2) 38人	1歳(R3) 34人	0歳(R4) 35人
東飯田	19	16	18	9	11	10
野上	16	13	5	9	9	8
野矢	4	1	4	2	1	2
南山田	10	6	4	1	10	4
淮園	4	1	6	3	2	6
飯田	7	5	6	14	1	5

※R5.8.29時点での人数

傍聴者の声

◆協働のまちづくり



工藤 勝美 さん

我が町は「合併を行わない」を選択。加速度的に進む高齢化、人口減少は覚悟のうえであった。

平成17年、まちづくり基本条例が最高規範として施行され、住民・議会・行政の「協働」が貫かれている。

質問の際、町の総合計画や、まち・ひと・しごと創生総合戦略、国土強靱化地域計画などとの関係や接点の説明を加えていただけると住民として、より分かりやすくなるのではないかと考える。

個性輝くまちになるには、生産性や効率の追求より「協働」の考えのもと幸福度を目

指してほしい。以前ブータン国王の来日で気づかされた。幸福度といえるかどうか、大好きなDIYと軽トラライフを満喫している。

九重町まちづくり基本条例一部抜粋

第2章 基本原則 (住民自治の原則)

第3条 住民は、住民主体のまちづくり実現のため、個人を尊重し、相互平等を認め、自主性を尊重した住民自治を進めることを基本とする。

(地域学習の原則)

第4条 住民、議会及び行政は、共に地域学習を重ねながら、まちづくりに関

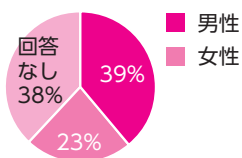
する情報を共有、活用し、その成果でまちづくりの意思決定を行うことを基本とする。

(相互協働の原則)

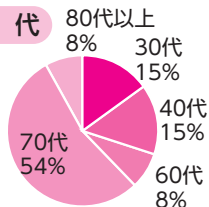
第5条 住民、議会及び行政は、相互理解のもと、対等の立場を尊重し、協働してまちづくりを進めることを基本とする。

傍聴者アンケート

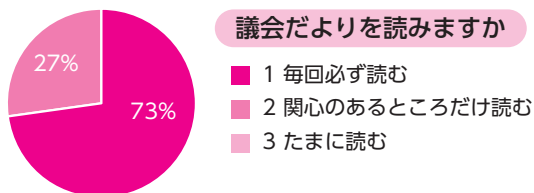
性別



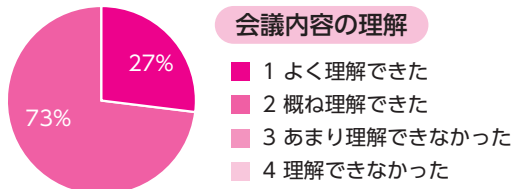
年代



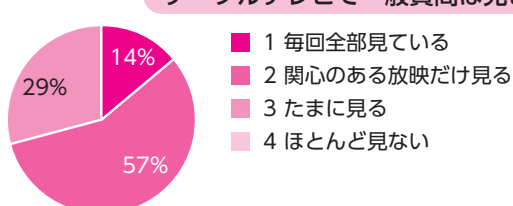
議会だよりを読みますか



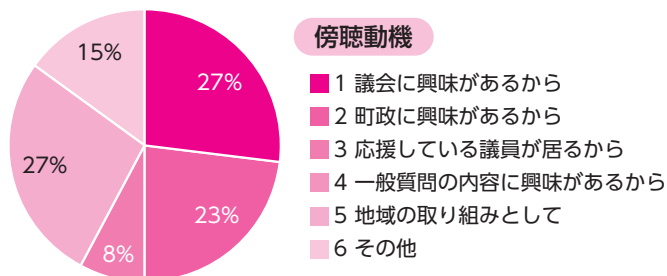
会議内容の理解



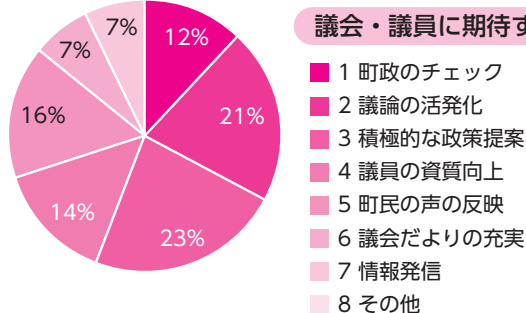
ケーブルテレビで一般質問は見ますか



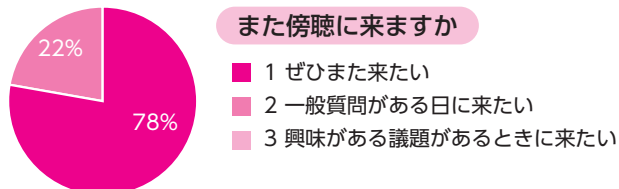
傍聴動機



議会・議員に期待すること



また傍聴に来ますか



アンケートにご協力いただきありがとうございました。いただいたご意見は、議員全員で共有いたします。



第19回

みなみやまだ 玖珠神楽神祇社



約400年の歴史を持つ玖珠神楽。南山田引治地区に受け継がれて100年が経過しました。今年4年ぶりに奉納されることとなりましたが、かつては大勢の氏子が集まり豊穡の秋を祝い、優雅で迫力あるお神楽を楽しんでいたものでした。しかし近年は後継者不足に悩み今や存続も危ぶまれます。大分県民族無形文化財に指定され、平成25年の伊勢の遷宮祭にも大分神楽の要として招かれた伝統ある貴重な神事。途絶える前に何としても次の世代にバトンをつなげたい！と復活の狼煙を上げました。神楽を舞ってみたい人、サポートいただける方、神楽を愛する方など“神楽盛り上げ隊”を広く募集中です。

(写真は、令和5年10月1日に引治の亀山天満社で行われたもの)



伊勢の遷宮祭での披露

**議会だよりについて
ご意見をお聞かせください。**
【議会事務局：76-3814】

令和5年10月17日
発行／九重町議会 編集／議会広報特別委員会
〒879-4895 大分県玖珠郡九重町大字後野上8番地の1
☎ 0973-76-3814・FAX 0973-76-3809
メール(議会事務局) gikai@town.kokonoe.lg.jp

編集後記

十月の声を聴き、暑さも少し和らぎ涼しさを感じる今日この頃です。

季節の移ろいは早いもので、前号では田植えの終わりを告げましたが、今は稲刈りの跡が景色です。

初めて広報担当の一員となり、改めて、伝えること・読んでいただくこと、の難しさを実感しています。

議会に目を向けていただきたい・議会の様子を知っていただきたい、との思いで全員努力しています。

議会、議員の活動をチェックする一番の情報誌です、是非一読をお願いします。

岩尾 茂樹

広報委員長 野上香代子
副委員長 土井眞一郎
委員 岩尾 茂樹
委員 岐部 俊哉
委員 矢野 春美
委員 河野 克輝